



# 学校だより

7月号

令和2年 7月 1日

さいたま市立植竹小学校

〒331-0813 さいたま市北区植竹町2-1

TEL 048-663-7627

FAX 048-663-9885

E-mail uetake-e@saitama-city.ed.jp

学校教育目標 ○すすんでまなぶ子 ○たすけあう子 ○げんきな子

児童数 742名

何気ない所作から見えてくるもの

校長 野津 美智代

梅雨に入り、子どもたちは校舎内で過ごすことが多くなりましたが、落ち着いた学校生活を送っています。分散登校時と比較すると、毎朝、挨拶を交わす子どもたちの表情も日に日に明るくなってきたように感じます。

さて、6月半ばのことです。その日は、朝から雨が降っていました。私は、いつものように挨拶を交わしながら子どもたちを迎えていました。ふと、高学年昇降口を振り返りました。すると、傘を閉じた後、友達に水滴がかからないように気を付けながら、傘を軽く数回振って水滴を落とし、ベルトを留めて昇降口に入っていく数人の子どもたちの姿が目にとまりました。(立派な子どもたちがいるな) と思い、「みんなえらいね。」と声を掛けた後、挨拶を続けました。暫くして、また高学年昇降口を目をやると、どの子ども、先程と同じようにして傘をたたんで、昇降口に入っていきます。長く教職に就いておりますが、このような光景に出会ったのは初めてのことでした。

先週の雨の日。低学年の昇降口の様子も気になって見ていると、低学年の子どもたちも高学年の子どもたちと同じように傘をたたんでいます。小さな手で一生懸命、傘についているベルトを留めて、昇降口に入っていきます。

傍には、指導をしている大人はいません。誰に指示されるわけでもなく、自ら行っている行為です。つまり、その行為が身に付いているということです。教職員に植竹小では学校全体で傘のマナーについて、繰り返し指導をしてきているのか尋ねましたが、重点的に指導をしてきたことはないとのことでした。これは、保護者や地域の方々の何気ない所作が子どもたちにしっかり伝わっている証拠です。

きっと、これは御家庭の躰のお蔭であり、おそらく傘についてのマナー以外の大切なマナーについても子どもたちに伝わっているのではないかと感じました。そう思うと、このような地域力のある学校に着任できたことへの喜びと共に身の引き締まる思いがいたしました。健やかに子どもたちをはぐくみ、保護者や地域の方々の期待に応えられるような学校づくりに努めてまいります。

学校が再開し、「学校の新しい生活様式」を踏まえ、教育活動を実践しております。登校時刻や日課の変更、箸の持参等について、御理解、御協力をいただき、心より御礼申し上げます。

御案内のとおり、今年度は、小・中合同音楽会、親善球技大会、駅伝大会等の市全体での行事や運動会、修学旅行・館岩自然の教室、校外学習等の様々な学校行事の中止や延期が決定されました。そんな中、2学期以降、安全を確保した上で、子どもたちにとって少しでも思い出に残る行事等ができないか、教職員一同で熟考しております。

今年度は、16日間の短い夏休みとなりますが、一人ひとりが有意義な夏休みになることを願っています。